

国立市コミュニティバス運賃体系について

国立市コミュニティバスくにつこの運賃は、平成 14 年度（平成 15 年 3 月）の運行開始以来大人一回乗車 170 円（小人 90 円）であるが、消費税率の見直し対応や交通系 IC カード対応を検討するにあたってくにつこのバスの運賃の見直しを行う。

なお、国立市コミュニティバスくにつこの運賃は路線バスとの重複区間が多いため、当時の路線バスの初乗り運賃に合わせて設定された。

■ 1 運賃の見直しについて

平成 26 年 4 月から消費税率が変更となり路線バスの初乗り運賃が 180 円となったが、国立市コミュニティバスは交通系 IC カードの対応がなされていないことから IC 運賃 175 円の設定ができず運賃の見直しは実施していない（この結果、運行経費等の消費税増税分は市がこれを負担している）。

平成 29 年 4 月に消費税率が変更される際に、交通系 IC カード対応と併せて地域公共交通会議で議論し方針を決めることとしているが、仮に消費税が 10%になると、消費税 5%で 170 円だった運賃は約 178 円となり、大人一回 180 円にしても影響は少ないと考えられる。

■ 2 近隣市における交通系 IC カード対応の状況

a)国分寺市

平成 27 年 12 月から交通系 IC カードに対応した（乗合タクシーの北町ルートは除く）。運賃は 100 円を継続。ぶんバス専用回数券あり。

b)立川市

平成 28 年夏のルート等見直しにあわせて運賃改定を実施し、交通系 IC カードに対応する予定である（大人一回 180 円均一。バス特あり）。

c)府中市

平成 28 年 6 月現在、交通系 IC カードには非対応。小学生以上一回乗車 100 円。ちゅうバス専用回数券あり（21枚つづり 2000 円）。

d)日野市

すでに交通系 IC カード対応済。大人初乗りが 180 円（一部 100 円区間あり）、以降距離に応じて加算。バス利用特典サービス（バス特）やモットクパス（京王バス金額式 IC 定期券）、休日家族割引（旧環境定期券制度）、ちびっこ 50 円キャンペーンなどの運行事業者の京王バスの運賃割引制度・キャンペーンに準じたものとなっている。

■ 3 国立市コミュニティバスの交通系 IC カード対応

近隣市のコミュニティバスでは交通系 IC カード対応が進んでいる。また、市内を走る路線バスはすべて交通系 IC カードに対応済である。

国立市コミュニティバスにおいて交通系 IC カードに対応するのであれば、その機能を活かし、以下のサービスが提供できると考えられる。

- (1) 1円単位での運賃設定
- (2) バス利用特典サービスへの対応
- (3) 金額式定期券への対応
- (4) 対距離運賃の導入と利用 OD の把握 (※)

※シルバーパス利用者については、シルバーパスが交通系 IC カードに書き込む形式となり、乗降時にバス車内の読み取り機にタッチする形式になった場合にのみ OD の把握が可能。

■ 4 運賃設定 (案) について

IC カード導入によって1円単位での運賃設定ができるようになるので運賃の見直しを行う。

- (1) 大人一回 180 円 (小人 90 円) バス特対応。(IC 運賃は設定しない)
- (2) 大人一回現金 180 円、IC178 円 (小人現金 90 円、小人 IC89 円) バス特対応

・上記の場合は、回数券は、90 円券片 25 枚 2,250 円分を 2,000 円で販売する (大人一回乗車 160 円相当 = 約 11%割引 (現在よりも割引率アップ))。

- (3) 交通系 IC カード利用時のみ対距離運賃の導入 (たとえば現金一回 200 円均一、IC 運賃は隣のバス停までは 100 円、通常利用は 180 円、循環路線で、片道と想定される停留所を乗り越した場合は 200 円に設定するなど)

・現行の均一運賃を見直した場合はシルバーパス適用が外れる可能性が高い。